☺「福岡市子どもと本の日」通信　No.１４０　　平成２８年１１月２３日

❀　毎月２３日は「福岡市 子どもと本の日」です　❀

～　子どもの読書活動を推進しましょう　～

あそびにおいで！
本 の 森

第 12 回　福岡市子ども読書フォーラム　のお知らせ

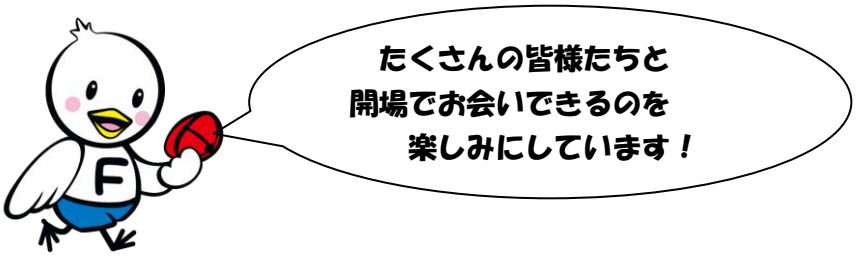
福岡市教育委員会では，子どもたちが本に親しむ環境づくり推進の一環として，標記の事業を毎年実施しています。12 回目となる今年は下記の日程で開催します。

＊日　時：平成２８年１２月３日（土）
午前 11 時～午後４時
＊会　場：アミカス（西鉄高宮駅に隣接したビル）

＊本年度の出場団体（順不同）
・福岡市小学校図書館教育研究委員会
・福岡市中学校図書館教育研究会
・福岡市立高等学校図書館教育研究会
・ブックスタートボランティア（中央区・南区
東区・城南区・早良区・西区）
・福岡おはなしの会
・福岡市学校図書館よみきかせボランティア
ネットワーク
・福岡市総合図書館・各分館
・福岡県書店商業組合

当日は，団体毎に各会場で，絵本の読み聞かせ，おはなし会，音楽劇，ＰＯＰアート展示をはじめ，読書に関する様々な企画を用意しています。中学生，高校生も活躍します。
親子での参加はもちろん，学校の先生方も，ぜひ会場をのぞいてみてください。

＊「第 12 回福岡市子ども読書フォーラム」の詳細はこのアドレスからもご覧いただけます。
☞　http://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/shogaigakushu/ed/forum.html



□　平成 28 年度の「家庭で楽しむ読み聞かせ講座」が進行中です

「家庭で楽しむ読み聞かせ講座」は福岡市教育委員会と福岡市ＰＴＡ協議会の共催による「家庭の教育力向上事業」のひとつです。同講座の企画と運営にあたっては，福岡市学校図書館よみきかせボランティアネットワークの皆さんにご協力をいただいて実施しています。

ここでは，全４回の講座のうち，10 月 20 日（木）に男女共同参画センター「アミカス」で行われた第２回目の講座の様子を紹介します。

同日の講座内容は講演で，**「『声』が育てる『ことば』と『こころ』～『生きたことば』の喜びを子どもたちに～」**という演題のもと，講師を**徳永明子さん**（「きりん文庫かすが」主宰者：写真右）が務められました。

「お母さんの声は金の鈴」の本を手に篤く語る徳永さん

徳永さんは人の声が持つ力に注目し，人の声を通して，愛情込めて語られることばは何物にも代えがたい貴重なものであり，機械ではなく，人の声で語られる『読み聞かせ』は価値あるものであることを力説されました。さらに，人の声で語られてこそ，ことばは**「生きたことば」**となるのであり，**「生きたことば」は子どもの成長にとって必要不可欠なもの**であると語られました。

徳永さんがこのことを強く意識するようになったのは，**椋鳩十**が書いた**「お母さんの声は金の鈴」**という本との出会いによるのだそうです。この本の「母の声の力」という章に「声の中には必ず心があり，心を込めて読んでやれば優しい母の声が子どもの中に入り込んでいく」とありますが，徳永さんは「お母さんの声は，子どもの前意識の中に蓄えられ，子どもに働きかけるのです」と話され，「人の声で愛情を込めて語られる『生きたことば』が子どもの『心』を育て，人生の基礎を作ること」，また，「『生きたことば』の喜びが『読書の喜び』にもつながる」と語られました。

さらに，実際に「読み聞かせ」や「手遊びうた」を実演され，効果的なやり方を具体的に示されました。例をあげると，「読み聞かせ」の際，ただ一方的に聞かせるのではなく「詩」や「ことば遊び」など，子どもたちにも声を出して参加してもらうようにすると，子どもたちは一層集中して「ことば」に耳を傾け，話の世界により深く入り込んでいくとのことです。「いっしょに楽しんで読むことで，相手に楽しさが伝わります」とのお話に，「読み聞かせ」の本質を伺うことができたように思われ，受講生全員，感動の内に，講座が終了しました。

講師と共に「手遊びうた」を楽しむ受講生たち

□　読書週間中の学校図書館を訪ねました　～宮竹中学校の取り組み～

読書週間中，多くの学校・園で色々な取組みが行われたことと思います。ここでは，福岡市立宮竹中学校で行われた**「図書館祭」**の様子を紹介します。

同校では 11 月８日（火）から 11 日（金）までの４日間で「図書館祭」が行われました。学校図書館内での取組み内容は次のとおりです。（実施時間帯は全日とも昼休み）

〇文化委員による図書クイズ（しおりの景品あり）
〇文化専門委員長による読み聞かせ
〇学校司書による読み聞かせ
〇先生方の「おすすめ本」の展示をはじめとする，各企画展示

学校図書館入口の掲示

私が訪問したのは祭の初日でした。学校に到着したときは給食時間中で，お昼の放送が流れていました。それは，学校図書館担当の山﨑先生による朗読（「とっかえべー」：江坂遊　作）でした。「図書館祭」の期間中は朝と昼（給食時）の放送を使って，学校図書館からのお知らせや，人気本の紹介，詩や物語の朗読，さらには，宮竹中学校の先生方が自ら語る「本と私」という語りなどの放送を行っているとのことでした。「図書館祭」では，先生方全員の協力体制がとられており，「おすすめ本」の展示（先生自身によるＰＯＰが付いています。）や「本と私」の放送への協力だけでなく，「図書館祭」の様子を交代で見にこられるそうです。

図書館祭の初日，学校図書館にはすでに 30 名程の人数が，祭用に並べられた席に集まっていました。この日，学校図書館内には，最も多い時で 90 名近くの生徒たちで賑わっていました。

以下，図書クイズと読み聞かせの様子を紹介します。

賑わう学校図書館の様子

①　図書クイズ

映画化されたり，話題になった本，先生方のおすすめ本からなど，文化委員のみんなで 85 問ほどの問題を作成しました。

文化委員が 1 問ずつ問題を読みあげ，回答者は挙手をし，一番早く手をあげた回答者に，文化委員お手製の「しおり」が景品に渡されました。

（問題例）

・「世界から猫が消えたなら」で主人公が飼っていた猫の名前は？
・「告白予行演習」などで人気の「ハニワ」は何の略？　ヒント：　Honey　〇〇〇〇〇
・校長先生がおすすめされている本は何でしょう？
・宮竹中人気の本ベスト 10，第 1 位の本は何？

など。

図書クイズの様子

②　文化専門委員長による読み聞かせ

専門委員長による読み聞かせ

　生徒会役員が改選されてまだ間がない文化専門委員長さんにとって，図書館祭は最初の大仕事。この日，専門委員長さんが読み聞かせに選んだ本は「あいすること　あいされること」（宮西達也作）でした。「命に関わる話なので，共感して聞いてもらえると思いました。」と委員長さんはこの本を選んだ理由を教えてくれました。気持ちのこもった読み聞かせに，全員が聞き入っていました。

　読み聞かせを終え，初日の取組の最後に，専門委員長さんは，次のように述べました。「今日の図書館祭を機会に，皆さんがさらに学校図書館に足を運んでくれることを願っています。」

③　さまざまな企画展示のコーナー

　期間中，学校図書館内には，学校図書館担当の山﨑先生と文化委員のみんなで考えた，さまざまな企画展示のコーナーが設けられていました。最後にそれらを紹介します。

宮竹中人気の本ベスト 10

冒険ファンタジー（左）と推理本（右）

新・旧専門委員長さんのオススメ本

宮竹中の先生方のオススメ本
（先生方が書かれたＰＯＰ付）

□　Ｈｅｌｌｏ！　学校図書館　　～　内浜小学校　編　～

＊本の世界に誘う　すてきな入口

入口は学校図書館の顔です。子どもたちが思わず入りたくなるような，すてきな表情でありたいものです。内浜小学校の学校図書館の入口はまさに，そのようになっています。（写真①）

①

・入口の手前には，読書に誘うことばがイーゼルの上に立ててあります。
・右側は本に関する情報の掲示板です。
・ドアには開館・閉館を示すフェルト製の本の形をした表示が下がっています。

②

・入口の上側は，写真②のようなすてきなペーパークラフトの木で飾られています。☞

＊工夫されたレイアウト

内浜小学校学校図書館は市内の多くの学校に見られる設計・規模のものですが，レイアウトを工夫し，狭さをさほど感じさせることなく，使い勝手のよいものになっています。

③

（写真③：入口前方から後方を臨む）

・入口を入って右側に書架とカウンター左側に机といすの基本配置

④

（写真④：後方から入口側を臨む）

・入口を入って右奥は絵本のコーナーで，畳が８畳分ほど敷かれています。

⑤

（写真⑤：絵本のコーナー）
（写真⑥・⑦：絵本コーナーの表示）

⑥

⑦

＊見やすく，わかりやすい表示

図書館の利用者にとって，書架の表示の見やすさ，わかりやすさは極めて重要です。

内浜小学校では，日本十進分類法に沿って細やかな表示がなされているだけでなく，子どもの目を引く，わかり易い表示に工夫がなされています。

⑧

・写真⑧は木製の表示板。文字が立体です。

⑨

・写真⑨は透明なプラスチック板を利用した表示板。⑧も⑨も絵が目をひきます。

⑩

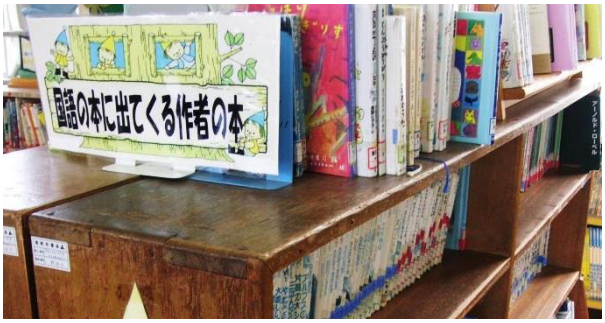
・写真⑩は紙製の表示。大きな写真で，書棚の本の内容がすぐわかります。

箱にラミネートした写真と内容の表示を張り付けてたもので，倒れにくくなっています。

天井からつり下げてある表示もあります。☞写真⑪は天井からの表示の様子，また，写真⑫は国語の教科書に出てくる作者のコーナーです。⑪の表示はこの真上です。

⑪

⑫



＊読書へのいざない（お薦めの本）

特設のコーナーも子どもたちの本への関心を高めるための大切なスポットです。写真⑬は図書委員が選んだお薦め本のコーナーです。また，学校図書館内の掲示板には，「この本よんで！」という，色画用紙にお薦めの本を紹介したＰＯＰ風の記事も貼ってあります。

⑬

□　福岡アジア美術館・福岡市総合図書館からのお知らせ（１１月～１２月）

福岡アジア美術館　「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」

♪１１月後半から１２月の日程は次のとおりです。
（１１　月）２２日（火），２７日(日)
（１２　月）１１日（日），１３日（火），２５日（日）
（時　　間）１１：３０～１２：００，
　　１３：００～１３：３０（1日2回）
（会　　場）７階「キッズコーナー」（事前の申し込みは不要）
＊福岡アジア美術館は 12 月 26 日から 1 月 1 日まで休館になります。

福岡市総合図書館　「おはなし会」

♪１１月後半から１２月の日程です。
（１１月）２６日（土），２７日（日）
（１２月）３日（土），４日（日），１０日（土），１１日（日）
　　１７日（土），１８日（日：**クリスマス特別おはなし会**），２４（土），２５（日）

♪時間と場所

土曜日　１４：３０～（幼児向け）
日曜日　１４：３０～（幼児向け）
　　１５：１５～（幼児～小学生向け）
場所は「こども図書館　おはなしの家」です。
＊通常の「おはなし会」と「クリスマス特別おはなし会」は会場が異なっています。

☞ **クリスマス特別おはなし会**

12 月 18 日（日）は「**クリスマス特別おはなし会**」になっています。
時間は　１４：００～１５：１０
会場は　３階：第１会議室と
　　第２会議室

♪こども図書館　１２月の展示テーマは「**やってみよう　つくってみよう**」です。

□　図書館員のひみつの本棚《No.１２７》

福岡市総合図書館 読書相談員の重村さやかさんが紹介してくださるこのコーナー，今回は毎日の生活でなにげなしに腰掛けている椅子が主役。その椅子が意志を持って動き回るという，なんとも奇想天外なお話しです・・・

☆ **今月の「図書館員のひみつの本棚」**

『ぼくはイスです』
長　新太／さく　亜紀書房　2016 年　1300 円

☞　添付ファイルをご覧ください。

□　図書館歳時記　（１１月下旬～１２月）

＊展示や催事の企画の参考にどうぞ！

♫ **１１月２５日：福澤諭吉「学問のすゝめ」最終刊が刊行される**

福澤諭吉の代表的著作「学問のすゝめ」は明治５年に初編が出版されて以来，数年ををかけて刊行されました。最終編である第 17 編が刊行されたのは明治９年のことです。その４年後，前書きを加えて一冊の本に合本されました。

♫ **１２月１日：「ハリー・ポッターと賢者の石」日本語版発売される**

今も大人気の「ハリー・ポッター」シリーズですが，第１作である「ハリー・ポッターと賢者の石」（日本語版）が日本ではじめて発売されたのは 1999 年のこの日でした。

♫ **１２月１０日：「世界人権デー」・ノーベル賞授賞式の日**

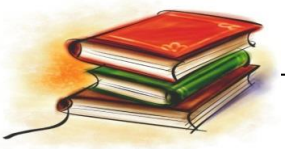
1948 年のこの日，国連総会において「世界人権宣言」が採択されました。これを記念して，２年後の国連総会において，この日を「世界人権デー」に定められました。

また，この日は，ノーベル賞の授賞式の日でもあります。

♫ **１２月１０日：「十進分類法」を提唱したメルヴィル・デューイの誕生日**

現在，図書の分類法として用いられている「十進分類法」は，アメリカの図書館学者メルヴィル・デューイ（1851-1931）が 1876 年に提唱したものです。彼は司書養成のために，初めて教育機関を設立した人でもあり，図書館の運営に大きな足跡を残した人物です。

❀ １１月・１２月の主な文学関係者たち



♪ **１１月・１２月生まれの主な文学関係者**

１１月２９日	C.S.ﾙｲｽ	(1898)	１２月１５日	谷川俊太郎	(1931)
１１月３０日	ﾏｰｸ･ﾄｳｪｲﾝ	(1835)	１２月１５日	いわさきちひろ	(1918)
１１月３０日	M.ﾓﾝｺﾞﾒﾘ	(1874)	１２月２１日	ファーブル	(1823)

♫ **１１月・１２月に亡くなった主な文学者関係者**

１２月　９日	夏目　漱石	(1916)	１２月１７日	相田みつを	(1991)
１２月１６日	ｸﾞﾘﾑ兄弟(弟)	(1859)	１２月２２日	ﾋﾞｱﾄﾘｸｽ･ﾎﾟﾀｰ	(1943)

♪あとがきにかえて　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

読書週間をとおして，子どもたちが，本に親しむことの楽しさを実感するとともに，学校や地域の図書館など，本が置いてある場に足を向けるようになることを願うものです。

12 月３日に開催されます「福岡市読書フォーラム」では，たくさんの皆様方のご来場をお待ちしています。活動に携わる中学生・高校生たちへの応援もよろしくお願いします。

編集・発行：　福岡市教育委員会　教育支援部　生涯学習課
電　　話：７１１－４６５５　　Ｆ　Ａ　Ｘ：７３３－５５３８